

地域計画

策定年月日	令和6年2月19日
更新年月日	令和6年 月 日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	富里市 (122335)
地域名 (地域内農業集落名)	七栄 (七栄第一)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	39.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	29 ha
② 田の面積	0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	39.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	2.7 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.4 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	12.1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	10.6 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地域内に若い農業者が少なく、後継者のいない経営体が多い。また、市街化区域、住宅団地に近いため、施肥や農薬散布、農業機械での作業などでは苦情が出ないよう気を使いながらの農作業になる。ほ場は、平坦で比較的まとまっている。立地条件的に宅地化の進行が見込まれる地域であるため、農地面積は減少していくと予想される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

農地面積の減少が見込まれるが、経営規模については現状維持を志向する経営体が多いが、規模拡大を志向する経営体も複数存在する。  
 空き農地については、地域内の若手を中心とした規模拡大を志向する担い手により、十分カバーできると考える。  
 また、耕作しにくい畑は農地以外での使い道をさがすのも一つの手段である。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
目標地図に位置づけた者と富里市農政課及び農業委員会で密に連携し、貸し借りの意向等の情報を収集し、引き受け農地の決定を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	25.9 %	将来の目標とする集積率	60 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
富里市農政課、富里市農業委員会等関係機関、目標地図に位置づける者を中心に農地中間管理事業による集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者を中心とした担い手へ農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用して、認定農業者を中心とした担い手へ農地集積を進める。
(3)基盤整備事業への取組
必要に応じて、今後検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
市、農業事務所、JA等の関係機関と連携し、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
必要に応じて、今後検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

当地区は、アライグマやハクビシンによる農作物被害が増えている。鳥獣被害対策実施隊が現状1名。箱わな設置による捕獲を行うなど精力的に活動しているが、1名で地域全体の被害対策は難しい。若手の中心経営体等で狩猟免許を取得し、鳥獣被害防止に地域ぐるみで取り組んでいく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		露地野菜・施設野菜	1.7 ha	0 ha	露地野菜・施設野菜	1.7 ha	0 ha	有	
利用者		露地野菜・施設野菜	1.2 ha	0 ha	露地野菜・施設野菜	1.2 ha	0 ha	有	
利用者		露地野菜	1.6 ha	0 ha	露地野菜	1.6 ha	0 ha	有	
認農		露地野菜	1.5 ha	0 ha	露地野菜	3.7 ha	0 ha	有	規模拡大
認農		露地野菜・施設野菜	3.2 ha	0 ha	露地野菜・施設野菜	4.3 ha	0 ha	有	規模拡大
認農		露地野菜	2.3 ha	0 ha	露地野菜	3.4 ha	0 ha	有	規模拡大
利用者		露地野菜	0.5 ha	0 ha	露地野菜	0.5 ha	0 ha	有	規模拡大
利用者		露地野菜	0.4 ha	0 ha	露地野菜	0.4 ha	0 ha	有	
利用者		花卉	0.8 ha	0 ha	花卉	0.8 ha	0 ha	有	
認農		露地野菜	1.6 ha	0 ha	露地野菜	1.6 ha	0 ha	有	
利用者		露地野菜	0.7 ha	0 ha	露地野菜	0.7 ha	0 ha	有	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	11経営体		15.5 ha	0 ha		19.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

